

問題（100点）

<出題の意図>

課題文は、2025年2月20日に『日本経済新聞』夕刊に掲載された記事、永井玲衣氏執筆の「役に立つとは」と、2025年3月22日に『日本経済新聞』朝刊に掲載された記事、西原幹喜氏執筆の「米津玄師が推し 魅力再発見、バズるロングセラー」からの抜粋である。設問では、学生が「役に立つ」学びへの圧力にさらされる中で、それとは必ずしも重ならない「教養」の意義について、自分自身の考えを論理的かつ分かりやすく表現することを求めている。

<採点のポイント>

以下の点について、「関心・意欲」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価する。

- ・課題文の内容を正確に読み取っているか。
- ・「役に立つ」ということに対する理解と、「教養」の意義についての考えが書かれているか。
- ・記述が説得力をもち、小論文としてまとまっているか。